

中尾小だより

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 2596-1

HP <http://nakao-e.saitama-city.ed.jp> TEL: 048-873-0216 FAX: 048-810-1120

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた
心豊かな人の育成

備えあれば・・・

校長 小長谷 雅彦

あけましておめでとうございます。お正月は、ご家族でゆっくりと新しい年を迎えられたことと思います。令和6年が、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様にとりまして、希望に満ちたよい年になりますよう心から願っています。旧年中は、保護者や地域の皆様の温かいご理解とご協力をいただき、教育活動を展開することができました。本年も更なる教育の充実、発展を目指し、教職員一同全力で取り組んでまいります。変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

1月から始まる3学期は、学年のまとめの学期です。今日から始まる54日間(6年生は52日間)の3学期は、子どもたち一人ひとりに、今まで学習した知識や能力、基本的な生活習慣などがきちんと身に付いているか点検し、補充し、まとめ、来年度の新たなスタートを切る準備をしていきます。ご家庭でもお子さんの成長を実感するとともに、学年に応じた生活習慣、家庭学習等について目をかけていただきたいと思います。

さて、新年早々大きな災害や事故がありました。能登半島地震は1月1日の夕方、ちょうどサッカーの日本代表戦の終了後すぐだったこともあり、家族団らん中の我が家でも、緊急地震速報や大津波警報のニュースを受け、正月気分から一気に現実に引き戻されました。被災された方々やお亡くなりになった方々の多くが、きっと家族団らんの最中だったことが想像され、何でこんな日にと思ったのと同時に自然の怖さを目の当たりにしました。復興には時間がかかるとは思いますが、私たち国民一人ひとりが何ができるのかを考え実践していく。そんな国民でありたいと思います。

県や市町村等の自治体は、災害時の物資協定を民間企業と結んでいるそうです。小売り各社やメーカー各社とそれぞれ要請時に何万食を用意するという取り決めで、年に一回はシミュレーション上の訓練も行っていて、そのため災害時の救援物資の提供もスムーズにできているそうです。決して災害が起きてから準備しているわけではないのです。自然災害の多い日本でそれを見越してそのような対策をとっていることを改めて知りました。

最近の自然災害に対して、「備えがあっても憂いは0ではない」とは思いますが、憂いを減らすことはできると思います。学校でも安全に関する事項を今一度見直し、すぐに対応できるように準備を怠らないようにしていきたいと思っています。